

〈特集「(連用修飾的) 複文」〉

## トルコ語<sup>1</sup>の(連用修飾的) 複文<sup>2</sup>

奥 真裕

(1) 彼はいつも新聞を読みながらご飯を食べる。

(1a) O her zaman gazete oku-yarak yemek yi-yor.  
 彼 いつも 新聞 読む-CONV ご飯 食べる-PRES

(1b) O her zaman yemek ye-r-ken gazete oku-yor.  
 彼 いつも 食事 食べる-AOR-CONJ 新聞 読む-PRES

-(y)ArAk<sup>3</sup>は「～ながら」という同時性を表す副動詞。-(y)ken は時を表す節をつくり, ken という独立した形も持つ。最初の文が訳にはより忠実ではあるが, 2 目目の文の方がトルコ語としてはより自然に使用される。

(2) (私は) 昨日は 10 時に家に帰って, 少しテレビを見て (から), 寝ました。

(2a) Dün saat on-da ev-e dön-üp biraz televizyon  
 昨日 10 時-LOC 家-DAT 戻る-CONV 少し テレビ  
 izle-dik-ten sonra yat-tı-m.  
 鑑賞する-PART-ABL 後 寝る-PAST-ISG

-İp は「～て」という基本的には同時, 並行でない場合に用いられる副動詞である。-DİkAn sonra はこの形で「～した後で」という意味で用いられる。

<sup>1</sup> トルコ語は主にトルコ共和国で話されている言語であり, スタンブル方言を基礎とした共通語をもつ。チュルク諸語の南西語群(オグズ語群とも呼ばれる)に分類され, アゼルバイジャン語やトルクメン語と近い関係にあるとされる。言語類型論的にはいわゆるアルタイ型であり, SOV の語順をとる言語である。本稿における表記は正書法を採用している。

<sup>2</sup> 本稿の作成にあたり, Melih Yılmaz さん(Kütahya 県出身, 26 歳, 男性)のご協力を得た。また, 指導教官である菅原睦先生からは多くのご指摘をいただいた。この場を借りて感謝を述べたい。なお, 誤りはすべて執筆者の責任である。調査にあたっては, 筆者の作例を修正してもらった形で行った。また, 実際の使用の場面をそれぞれ想定しながら自然な使用が可能な文を採用した。

Göksel-Kerslake(2005)を参考にすると, トルコ語の複文には名詞節, 関係節, 副詞節, 条件節, 接続詞とその類をもちいるものがあげられる。finite と non-finite の両方の形が従属節として扱われている。

<sup>3</sup> 以下, 大文字は子音の同化や母音調和による交替をしめす。(A=e/a; I=i/i/ü/u; D=d/t; K=k/ğ)

(2b) Dün saat on-da ev-e dön-dü-m ve biraz  
 昨日 10時-LOC 家-DAT 戻る-PAST-1SG そして 少し  
 televizyon izle-yip yat-tı-m.  
 テレビ 鑑賞する-CONV 寝る-PAST-1SG

(3) (私は) 昨日階段で転んで、ケガをしてしまった。

Dün merdiven-den düş-üp yaralan-dı-m.  
 昨日 階段-ABL 落ちる-CONV けがをする-PAST-1SG

トルコ語で「落ちる」と「転ぶ」は düş- であらわされるため、「階段から落ちて」と「階段で転んで」との言分けができない。

(4) 今日父は会社に行って、兄は大学に行った。

(4a) Bugün de baba-m iş-e, ağabey-im  
 今日 も 父-POSS.1SG 仕事-DAT 兄-POSS.1SG  
 üniversite-ye git-ti.  
 大学-DAT 行く-PAST

\* (4b) Bugün de baba-m iş-e gid-ip  
 今日 も 父-POSS.1SG 仕事-DAT 行く-CONV  
 ağabey-im üniversite-ye git-ti.  
 兄-POSS.1SG 大学-DAT 行く-PAST

Göksel-Kerlake(2005)でも指摘されているが、-Ip 節と主節は異なる主語をとることができないため、文として成り立たない。

(5) (あの人は) 今日は帽子をかぶって歩いていた。

(5a) O adam, bugün şapkalı yürü-yor<sup>4</sup>-du.  
 あの 人 今日 帽子つきの 歩く-PRES-PAST.COP

-II は名詞類から名詞類を派生させる接尾辞である。ここでは副詞的に使用されている。

(5b) O adam, bugün şapka tak-mış hal-de  
 あの 人 今日 帽子 かぶる-PART 状態-LOC  
 yürü-yüyor-du.  
 歩く-PRES-PAST.COP

<sup>4</sup> ここでの -yor は未完了を表しているが、本稿のグロスでは便宜上 PRES を用いる。

-mİş halde は「～（の状態）で」という意味で用いられる。şapka takmış halde 「帽子をかぶった状態で」

- (5c) O adam, bugün şapka-yı tak-arak  
 あの 人 今日 帽子-ACC かぶる-CONV  
 yür-üyor-du.  
 歩く-PRES-PAST.COP

帽子をかぶる動作をしながら歩き始める場合に使われる。日本語の意味とあわない。副動詞に関しては(1a)を参照。

- (5d) O adam, bugün şapka-yla gez-iyor-du.  
 あの 人 今日 帽子-INST 散歩する-PRES-PAST.COP

-(y)IA はここでは随伴を表している。つまり、帽子をかぶっているかもしれないが、携帯しているだけの可能性もある。かぶっていることを強調する場合には baş-ı-nda (頭-3SG-LOC) şapka-yla geziyordu としてもよい。

- (5e)<sup>5</sup> O adam, bugün şapka-yı tak-ıp  
 あの 人 今日 帽子-ACC かぶる-CONV  
 yürü-yor-du.  
 歩く-PRES-PAST.COP

副動詞-İp を用いて表した場合、「帽子をかぶっていない状態から帽子をかぶり、その後歩き出す」という意味になり、日本語の文にあわなくなる。

(6) (私は) 休みの日はいつも本を読んだり、テレビを見たりしています。

- |            |                   |            |              |       |
|------------|-------------------|------------|--------------|-------|
| Tatil      | gün-ler-i-nde     | her zaman  | ya           | kitap |
| 休暇         | 日-PL-POSS.3SG-LOC | いつも        | または          | 本     |
| oku-r-um   | ya da             | televizyon | izle-r-im.   |       |
| 読む-AOR-1SG | または も             | テレビ        | 鑑賞する-AOR-1SG |       |

ya...ya...は「～または～」という意味で用いられる。(2)などで現れた副動詞-İp を用いて表すことはできない。「本も読んで、テレビも見る」ように2つの動作を両方とも実現する場合には使用できる。

<sup>5</sup> 母語話者によっては(5)の意味で使うことができるという人もいる。

(7) 時間がないから、急いで行こう.

(7a) Vakt-imiz yok. Çabuk gid-elim.  
 時間-POSS.1PL ない 早く 行く-IMP.1PL

自然な形にするためには接続詞を用いず、2文であらわされる.

(7b) Vakt-im yok. Çabuk gid-eyim.  
 時間-POSS.1SG ない 早く 行く-IMP.1SG

独り言や自分に言い聞かせるような場合は一人称単数でも表すことができる.

(7c) Vakt-imiz ol-ma-dığ-ı için çabuk  
 時間-POSS.1PL ある-NEG- PART-POSS.3SG ために 早く  
 git-meli-yiz.  
 行く-OBL-1PL

「私たちの時間がないので、早くいかなければなりません。」

(7d) Vakt-imiz ol-ma-dığ-ı için çabuk  
 時間-POSS.1PL ある-NEG-PART-POSS.3SG ために 早く  
 git-se-k iyi ol-ur.  
 行く-COND-3PL よい なる-AOR

「私たちの時間がないので、早く行った方がいいです。」

あえて複文の形式を使うとすれば、gidelim (願望形) をつかうことができない.

(8) 昨日は頭が痛かったので、いつもより早く寝ました.

(8a) Dün öyle baş-ım ağır-ıyor-du  
 昨日 そんなに 頭-POSS.1SG 痛い-PRES-PAST.COP  
 ki erken yat-tı-m.  
 CONJ 早く 寝る-PAST-1SG

最も自然な表現であるが、この場合の ki は程度を表す副詞 (öyle 「そんなに」 や o kadar 「それほど」) と相関的に用いられる、構文として用いられる. Göksel and Kerslake(2005: 464)では結果の用法であるとされている.

(8b) Dün baş-ım ağır-ıyor-du. O yüzden  
 昨日 頭が-POSS.1SG 痛い-PRES-PAST.COP そのため  
 erken yat-tı-m.  
 早く 寝る-PAST-1SG

- (8c) Dün baş-ım ağır-diğ-i için erken  
 昨日 頭が-POSS.1SG 痛い- PART-POSS.3SG POSTP 早く  
 yat-tı-m.  
 寝る-PAST-1SG

形動詞-DIK, 人称接尾辞と後置詞 için 「～のために」を用いて, -DIĞI için という形で原因や理由を表す.

- (8d) Dün baş-ım ağır-diğ-i-ndan erken  
 昨日 頭が-POSS.1SG 痛い- PART-POSS.3SG-ABL 早く  
 yat-tı-m.  
 寝る-PAST-1SG

過去の形動詞-DIK, 人称接尾辞, 奪格接尾辞を用いて-DIĞIndAn という形でも原因や理由を表す.

(9) あの人は本を買いに行った.

- O adam, kitap al-ma-ya git-ti.  
 あの 人 本 買う-VN-DAT 行く-PAST

(10) (彼は) 外が良く見えるように窓を開けた.

- (10a) Dışarı-sı daha iyi görün-sün diye pencere-yi  
 外-POSS.3SG より よく 見える-IMP.3SG CONJ 窓-ACC  
 aç-tı.  
 開ける-PAST

-sIn は 3 人称の命令形と呼ばれており, 「～するようにしろ」と言う意味. ここでは直訳すると「外がよりよく見えさせる(見させる)ように窓を開けた」ということ. diye は Göksel-Kerslake(2005:462-463)でも説明されているように副詞節を導き目的の意味を表す<sup>6</sup>.

- (10b) O, dışarı-sı iyi görün-ecek şekil-de pencere-yi  
 彼 外-POSS.3SG よく 見える-PART 形-LOC 窓-ACC  
 aç-tı.  
 開ける-PAST

<sup>6</sup> Göksel-Kerslake(2005:462)では optative の-A と共に用いられるとしているが, (10b)のように 3 人称命令形と共に用いられることはよく見られる.

前者の文では、相手に外がよりよく見えるように窓を開けたというニュアンス。後者は結果的によりよく見えたというニュアンス。前者に比べ後者はより目的性は低い、表現としてはより自然。

(11) ここでは夏になると、よく雨が降ります。

(11a) Bura-da yaz gel-ince sık sık yağmur yağ-ar.  
 ここ-LOC 夏 来る-CONV よく 雨 降る-AOR  
 -(y)IncA は「～すれば、すると」という直前の動作や条件、原因を表す副動詞。

(11b) Bura-ya yazın sık sık yağmur yağ-ar.  
 ここ-DAT 夏に よく 雨 降る-AOR

実際は「夏になると」よりも「夏に」と副詞を用いて表される。こちらの方がより自然である。

(12) 窓を開けると、冷たい風が入って来た。

Pencere-yi aç-inca, içeri serin rüzgar gir-di.  
 窓-ACC 開ける-CONV 中に 涼しい 風 入る-PAST

ここでは主語が省略されているため、窓を開けた行為者ははっきりしていない。(13)においても同様である。

(13) 坂を上ると、海が見えた。

Yokuş-u çık-inca deniz görün-dü.  
 坂-ACC 登る-CONV 海 見える-PAST

(14) 明日雨が降ったら、私はそこに行かない。

Yarın yağmur yağ-ar-sa ora-ya git-mem.  
 明日 雨 降る-AOR-COND.COP<sup>7</sup> そこ-DAT 行く-NEGAOR.1SG

条件の付属語-sA は中立形に続いて、「～するならば」という条件を表す。

(15) もっと早く起きればよかったなあ。

Keşke daha erken uyan-sa-ydı-m.  
<sup>8</sup> もっと 早く 起きる-COND-PAST.COP-1SG

<sup>7</sup> 動詞語幹に直接付加される-sA は接尾辞、独立形式の ise にとってかわることができる-(y)sA はコピュラと分析する。詳しくは Göksel-Kerslake(2005:487)を参照。

過去における願望や現実に反する仮定の表現は条件の接尾辞-sA と過去のコピュラ-(y)DI を用いて-sAydI 「～すれば（よかったのに）」と表される。多くの場合願望を表す語 keşke とともに用いられる。

(16) あんなところに行かなければよかった。

Keşke ora-ya git-me-se-ydi-m.  
あそこ-DAT 行く-NEG-COND-PAST.COP-1SG

動詞の後に否定接尾辞の-mA を加え、-mAsAydI 「～しなければよかったのに」とあらわされる。

(17) 1に1を足せば、2になる。

(17a) Bir artı bir, iki.  
1 足す 1 2  
「1+1=2」

計算式としては、(17a)のようになる。

(17b) Elli altı-yla seksen beş-i topla-r-sa-m  
56-INST 85-ACC 集める-AOR-COND.COP-1SG  
141  
yüz kırk bir ed-er.  
する-AOR

条件を用いて表す場合は説明的になってしまうため、「56に85を足せば141になる。」のように、数字がある程度大きい場合には自然な発話となる。

(18) 駅に着いたら電話をしてください。

(18a) İstasyon-a var-dığ-ımız-da ara-yın  
駅-DAT 着く-PAST.PART-2PL-LOC 電話する-IMP.2PL  
lütfen.  
お願いします

-diğımızdaのように、過去の形動詞-DIK, 人称接尾辞, 位格接尾辞を用いて「～したとき」という意味の従属節を作る。

<sup>8</sup> グロスをつけることはできないが、sAydI とともに用いられる。(16), (25)も同様。

(18b) İstasyon-a var-ınca ara-yın lütfen.  
 駅-DAT 着く-CONV 電話する-IMP.2PL お願いします

(19) 日曜日になったら、みんなで公園に行きたいなあ。

(19a) Pazar gün-ü hep beraber park-a gid-elim  
 日曜日-POSS.3SG みんなで 公園-DAT 行く-IMP.1PL  
 yaa...  
 MOD

(19b) Pazar gün-ü gel-ince beraber park-a  
 日曜日-POSS.3SG 来る-CONV 一緒に 公園-DAT  
 gid-elim.  
 行く-IMP.1PL

(20) 明日雨が降ったら困るなあ。

Yarın yağmur yağ-ar-sa kötü ol-ur.  
 明日 雨 降る-AOR-COND.COP 悪く なる-AOR  
 「明日雨が降ったらいやだなあ。」

(21) 家に来るなら、電話をしてから来てください。

(21a) Ev-e gel-ecek ol-ur-sa-nız önce  
 家-DAT 来る-PART なる-AOR-COND.COP-2PL 前  
 ara-yın lütfen.  
 電話する-IMP.2PL お願いします

(21b) Eğer ev-e gel-ir-se-niz ara-yın  
 もし 家-DAT 来る-AOR-COND.COP-2PL 電話する-IMP.2PL  
 lütfen.  
 お願いします。

(22) [もうすぐベルが鳴るので] 鳴ったら、教えてください。

(22a) Zil çal-ınca bana haber ver-in.  
 ベル 鳴る-CONV 私に 知らせ 与える-IMP.2PL





(27) やりたいなら (自分の) 好きなようにやれば?

(27a) İlla yap-mak isti-yor-sa-n,  
どうしても する-VN 欲しい-PRES-COND.COP-2SG  
iste-diğ-in gibi yap.  
欲しい-PART-2SG ように する-IMP2SG

(27b) Madem yap-mak ist-iyor-sa-n,  
それでも する-VN 欲しい-PRES-COND.COP-2SG  
iste-diğ-in gibi yap.  
欲しい-PART-2SG ように する-IMP2SG

(28) このコップは落としても割れない.

(28a) Bu bardağ-ı düşür-se-n de  
この コップ-ACC 落とす-COND-2SG も  
kırıl-maz.  
壊れる-NEGAOR.3SG

動詞語幹に直接-sA が付加された場合、仮定「～すれば」を表す.

(28a) Bu bardak düş-se de kırıl-maz.  
この コップ 落ちる-COND も 壊れる-NEGAOR.3SG  
「このコップは落ちてても割れない」

(29) このリンゴは高かったのに、ちっとも甘くない.

(29a) Bu elma pahalı ol-ma-sı-na rağmen  
この りんご 高い である-VN-POSS.3SG-DAT かかわらず  
hiç tatlı değil.  
全然 甘い でない

動名詞+与格接尾辞と rağmen という語を用いて、「～にもかかわらず」という逆接をあらわす.

(29b) Bu elma pahalı ol-duğ-u hal-de  
この りんご 高い である-PART-POSS.3SG 状態-LOC  
hiç tatlı değil.  
全然 甘い でない

また、-DiğI halde (過去の形動詞+人称接尾辞と halde) も「～にもかかわらず」という逆接を表す.

(30) 彼の家に行ってみたけれども、彼はいなかった。

Onun ev-i-ne gid-ip bak-tı-m ama o  
彼の 家-POSS.3SG-DAT 行く-CONV 見る-PAST-1SG しかし 彼  
yok-tu.  
いない-PAST

(31) あの人が来るまで、私はここで待っています。

(31a) O adam gel-ince-ye kadar bura-da  
あの 人 来る-CONV-DAT POSTP ここ-LOC  
bekli-iyor-um.  
待つ-PRES-1SG

-IncAyA kadar「～するまで」は副動詞-IncA+与格と限度を表す後置詞kadarを用いて表される。

(31b) O adam gel-en-e kadar bura-da  
あの 人 来る-PART-DAT POSTP ここ-LOC  
bekli-iyor-um.  
待つ-PRES-1SG

また、形動詞-An+与格と限度を表す後置詞kadarを用いて-AnA kadar「～するまで」というかたちでも表される。

(32) あの人が来るまでに、食事を作っておきますよ。

(32a) O adam gel-ince-ye kadar yemek hazırla-yayım.  
あの 人 来る-CONV-DAT まで 食事 準備する-IMP1SG

(32a) O adam gel-en-e kadar yemek hazırla-yayım.  
あの 人 来る-PART-DAT まで 食事 準備する-IMP1SG

トルコ語では「～まで」と「～までに」は区別できない。

#### 略号一覧

ABL	奪格	PART	形動詞
ACC	対格	PAST	過去
AOR	アオリスト（中立形）	PL	複数
COND	条件	POSS	所有接尾辞

CONJ	接続詞	POSTP	後置詞
CONV	副動詞	PRES	現在
COP	コピュラ	PSB	可能
DAT	与格	Q	疑問
FUT	未来	SG	単数
IMP	命令・願望	VN	動名詞
INST	具格	1	1人称
LOC	位格	2	2人称
MOD	モーダル	3	3人称
OBL	義務		

#### 参考文献

- Göksel, Aslı and Kerslake, Celia (2005) *Turkish. A Comprehensive Grammar*, Routledge, London
- 東京外国語大学トルコ語専攻(2011)『トルコ語文法 初級・中級』東京外国語大学生協同組合  
出版部：東京